

〈 諏訪内晶子 室内楽プロジェクト 〉

AKIKO PLAYS CLASSIC & MODERN

With Friends

阪田知樹
(ピアノ)
©HIDEKI NAMAI

マーク・ゴトーニ
(ヴァイオリン)
©Philipp Plum

イェンス＝
ペーター・マインツ
(チェロ)
©Nikolaj Lund

鈴木康浩
(ヴィオラ)

諏訪内晶子
(ヴァイオリン)
©TAKAKI KUMADA

Akiko Plays CLASSIC with Friends

3/9 (水) 19:00開演 (18:00開場) 紀尾井ホール

7:00p.m., Wednesday, March 9, 2022, at Kioi Hall

モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための
二重奏曲ト長調 K.423

Mozart: Duo for Violin and Viola in G Major K. 423

フェニー・メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲 変ホ長調

Fanny Mendelssohn: String Quartet in E-Flat Major

クララ・シューマン：3つのロマンス Op.22

Clara Schumann: 3 Romanzen, Op. 22

フランク：ピアノ五重奏曲 へ短調

Franck: Piano Quintet in F Minor

Akiko Plays MODERN with Friends

3/11 (金) 19:00開演 (18:00開場) 紀尾井ホール

7:00p.m., Friday, March 11, 2022, at Kioi Hall

望月京：新作(国際音楽祭NIPPON委嘱/世界初演)〈2022〉

Misato Mochizuki: Commissioned Work by International Music Festival NIPPON (World premiere) <2022>

テリー・ライリー：弦楽四重奏曲 G-ソング 〈1980〉

Terry Riley: G Song <1980>

ジェルジュ・クルターグ：ミハーイ・アンドラーシュへのオマージュ
(弦楽四重奏のための12のマイクロリュード) Op.13 〈1997〉

György Kurtág: Hommage a Mihaly Andras - 12 Microludes for String Quartet, Op.13 <1997>

マーク＝アンソニー・ターネジ：

ピアノ五重奏のための「スライド・ストライド」〈2002〉

Mark-Anthony Turnage: Slide Stride for piano and string quartet <2002>

グラジナ・バツェヴィチ：ピアノ五重奏曲第2番 〈1965〉

Grażyna Bacewicz: Piano Quintet No.2 <1965>

[お申込み] ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

◎ チケットぴあ t.pia.jp [コード:207-661] ◎ イープラス eplus.jp ◎ ローソンチケット l-tike.com [コード:32862]

[2公演セット券] S¥13,000 A¥9,000 [CLASSIC] S¥8,500 A¥6,000 U25¥3,000 [MODERN] S¥7,500 A¥5,000 U25¥3,000

(ジャパン・アーツ夢倶楽部会員料金) [2公演セット券] S¥12,000 A¥8,100 [CLASSIC] S¥7,700 A¥5,400 [MODERN] S¥6,800 A¥4,500

※料金には消費税が含まれております。※先行販売で満席となった席種は以降発売されない場合がございます。※U25 及び特別料金につきまして裏面をご覧ください。

主催：ジャパン・アーツ/日本経済新聞社 後援：フィンランド大使館/ドイツ連邦共和国大使館 協力：ユニバーサル ミュージック

〈一般発売〉

1/15 (土) 10:00

ジャパン・アーツ夢倶楽部会員
2公演セット券のみ (TEL) : 1/7 (金)
WEB : 1/8 (土)・TEL : 1/9 (日)
ジャパン・アーツぴあネット会員 : 1/13 (木)

49.6パーセントの未来

現代の音楽学において、中心的な課題といえるのが「カノン」からの脱却だ。対位法のカノンのことではない、この場合には規範、といったほどの意味である。簡単にいえば「大作曲家」「名曲」を中心にした音楽史に対する反省というところ。

かつて音楽室の壁に並んでいた肖像画はその象徴だろう。カツラをかぶったバッハ、頼りなげなモーツァルト、モジャモジャ頭のベートーヴェン、青白いショパン。

誰もがある時、ふと気づく。あれ、男ばかりじゃないか。女性は作曲に向いていないのか、それとも女性には作曲がしにくい社会だったのか…理由はこのいずれかしか考えられない。

音楽史研究は、その答えが後者であることを、長い時間をかけて突きとめつつある。そして何より、現代の女性作曲家の活躍は、いちいち証明せずとも、どちらが真の答えであるかを雄弁に示していよう。つまり音楽界はずいぶんと

長い間、世の中の「半分」の人にしか作曲させてこなかったのだ。なんともつたない！もっとたくさんの可能性に満ちていたはずなのに。

2022年の「Classic & Modern」では、女性作曲家を積極的に取り上げられることをひとつの方針にして選曲が行われた。選ばれたのは、ファニー・メンデルスゾーン、クララ・シューマン、グラジナ・パツェヴィイチ、そして望月京。

もちろん、女性だからよい、というのでは本末転倒、かつてのカノンの裏返しになってしまう。ゆえに諏訪内晶子と企画スタッフは、いつも以上に慎重な手つきで選曲を行なったのだ。結果としてあらわれたのは——特に意識したわけではないものの——男女比がだいたい半々というプログラム。正確に言えば9曲のうち4曲、約44%が女性作曲家の作品だ。

2010年の統計によれば、世界の人口における女性の割合は49.6%。ゆくゆくは、演奏会のプログラムに女性作曲家が含まれる割合はそのくらいになることだろう。今回の「Classic & Modern」は、そのささやかな一歩である。

沼野雄司(音楽学)

AKIKO PLAYS CLASSIC & MODERN With Friends

諏訪内 晶子

(ヴァイオリン/国際音楽祭NIPPON2022芸術監督)

Akiko Suwanai, Violin /
Artistic Director of International Music Festival NIPPON 2022

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュらの指揮で、ポストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。2012年、2015年、エリザベト王妃国際コンクールヴァイオリン部門及び2019年チャイコフスキー国際コンクール審査員。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。デッキより14枚のCDをリリース。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコンコピア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学んだ。使用楽器は、日本にルーツをもつ米国在住のDr. Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のガルネリ・デル・ジェス「チャールズ・リード」。

マーク・ゴトローニ(ヴァイオリン)

Mark Gothoni, Violin

フィンランドを代表するヴァイオリニストの1人。21歳でブラームス国際コンクールに上位入賞しデビュー。以来世界各国でリスト、室内楽奏者として精力的に活動。母国フィンランドでは1998-2011年ラウマ音楽祭総監督、2001年よりサボンリンナ・ミュージック・アカデミーの室内楽部門監督を務める。2018年第1回「オーパス・クラシック(The OPUS KLASSIK)アワード」室内楽部門 受賞。コンサートヘボウ、ウイグモアホール、ヘラクレスザール、リンカーンセンターなど世界の名だたるホールコンサートシリーズに招聘されるなど活発な演奏活動の傍らで、ベルリン芸術大学ヴァイオリン科主任教授として後身の指導にも情熱を傾けている。

イェンス=ペーター・マインツ(チェロ)

Jens-Peter Maintz, Cello

1994年ミュンヘン国際音楽コンクールにおいてチェロ部門17年ぶりの優勝者となる。2006年より、クラウディオ・アバドの招聘をきっかけにルツェルン祝祭管弦楽団のソロ・チェリストを務めている。これまでにアシュケナージ、プロムシュテット、ヤノフスキ、ウェルザー=メスト等の指揮者と、ベルリン放送響、シュトゥットガルト放送響等のオーケストラと共演している。2004年よりベルリン芸術大学の教授を務める。使用楽器は1697年製のジョヴァンニ・グランチーノ「Ex.セルヴェ」。

鈴木康浩(ヴァイオリン)

Yasuhiro Suzuki, Violin

読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。5歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業。卒業後ヴィオラに転向。第7回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第1位ほか受賞多数。2001年よりドイツのカラヤン・アカデミーで研鑽を積み、ベルリン・フィルの契約団員となる。またサイトウ・キネン・フェスティバル、宮崎国際音楽祭など多方面で活躍を続けている。

阪田知樹(ピアノ)

Tomoki Sakata, Piano

2016年フランク・リスト国際ピアノコンクール(ハンガリー・ブダペスト)第1位、6つの特別賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール最年少入賞。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、クレーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンジャー国際ピアノオリンピック第1位及び聴衆賞。東京藝術大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学ソリスト課程ピアノ科に在籍。コモ湖国際ピアノアカデミーでも研鑽を積む。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。

【国際音楽祭NIPPON2022 公演スケジュール】

諏訪内晶子 ヴァイオリン・リサイタル

2/11(金・祝)・13(日)14:00 三井住友海上しらかわホール [問]クラシック名古屋 052-678-5310

2/16(水)・18(金)19:00 東京オペラシティ コンサートホール [問]ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

尾高忠明指揮/NHK交響楽団/諏訪内晶子(ヴァイオリン)

2/21(月)19:00 東京オペラシティ コンサートホール [問]ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

公開マスタークラス(ヴァイオリン部門)

3/3(木)・4(金) フィリアホール(横浜市青葉区民文化センター) [問]ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

東日本大震災復興応援コンサート in 陸前高田~諏訪内晶子&フレンズ~

3/6(日)14:00 陸前高田市民文化会館(奇跡の一本松ホール) [問]陸前高田市民文化会館 0192-22-9666

〈特別割引チケットのお知らせ〉(WEB ジャパン・アーツびあ及びジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

◎U25 公演当日25歳までの方が対象です。※夢倶楽部会員の方も同料金となります。一般発売日より受付を開始します。※公演当日、年齢が確認できるもの(学生証・保険証など)を拝見します。年齢証明がない場合一般料金との差額を頂戴する場合がございます。

◎シニア割引 65歳以上の方は2公演セット券・S席・A席を会員料金でお求めいただけます。

◎車椅子の方は本人と付き添いの方1名までが割引になります。必ず事前にジャパン・アーツびあコールセンターにてご予約ください。

ミュージアム・コンサート

3/12(土)19:00 トヨタ産業技術記念館 [問]クラシック名古屋 052-678-5310

ブラームス 室内楽 マラソンコンサート

3/13(日)11:00・30 11:13:30 11:19:00 東京オペラシティ コンサートホール

[問]ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

イヴァン・フィッシャー指揮/ブダペスト祝祭管弦楽団/

諏訪内晶子(ヴァイオリン)

3/15(火)19:00 サントリーホール [問]ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

〈次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めくださいませ〉①やむを得ない事情により出演者、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には一人1枚チケットが必要です。⑥本公演は全席指定です。指定のお席でご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。⑩公演実施の可否は新型コロナウイルス感染状況を見極めて慎重に判断させていただきます。